

謹啓

秋冷の候、埼玉県民の皆様には於かれましては、コロナ禍にも関わらずお元気にお過ごしのことと拝察申し上げます。

平素より当協会へのご支援ご協力を賜り、誠にありがたく心より御礼申し上げます。

来年は、中国山西省と友好県省締結 40 周年の節目の年を迎えます。この間、山西省とは「希望小学校」の建設、砂漠緑化のための「植林」、「物産展」、「写真展」、「訪中団」、「訪日団」、「歌舞団公演」、「県知事、省長の相互訪問」など双方の草の根交流を通して、交誼を結んでまいりました。この様に長い友好交流の歴史ある山西省が、本年 10 月初旬から未曾有の大洪水に見舞われ、多くの被害を出しました。太原の对外友好協会からの報告によりますと、175 万人以上の人が被災し、倒壊した家屋は 3 万軒以上にのぼり、損傷した道路は 6,523.36 キロ、決壊した堤防は 376.5 キロとのこと。呂梁市、臨汾市、雲城市など省南部の文化遺産も多くが被害に会い、有名な「平遥古城」の城壁の一部が崩落したそうです。呂梁山麓にある日本との関わりが深い「浄土の祖庭」といわれる玄中寺も数か所被害を受けたそうです。

また、農地の冠水により収穫直前の農作物が被害にあい、1 年の収入が見込めず悲嘆にくれる農家も多いとか、悲惨な状況について連絡を頂戴しました。自然災害は、他人事ではありません。内陸の黄土高原地帯にこのような大規模水害が起こることは、全地球規模による気候の温暖化によるものとの報道もあります。

私共埼玉県日中友好協会と致しましては、友好県省締結の山西省の被害は、見過ごすことの出来ない大きな問題と考えております。また、人道上からも復興支援をすべきであると、当協会青年委員会有志より提案がなされ、役員も大いに同意し、県協会が主催する「山西省水害復興義捐金募集」活動として、積極的に取り組むこととなりました。

埼玉県民の皆様、別紙のとおりご案内申し上げますので、山西省の復興支援にご協力賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

未筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展を衷心よりご祈念申し上げます。

謹白

2021 年（令和 3 年）10 月 30 日

特定非営利活動法人埼玉県日本中国友好協会

理事長 橋本 清一